

事例番号:310094

原因分析報告書要約版

産科医療補償制度
原因分析委員会第一部会

1. 事例の概要

1) 妊産婦等に関する情報

初産婦

2) 今回の妊娠経過

妊娠 41 週 0 日 胎児心拍数陣痛図では、胎児心拍数基線正常、基線細変動あり、一過性徐脈なし

3) 分娩のための入院時の状況

妊娠 41 週 2 日

時刻不明 胎動の自覚がないため搬送元分娩機関を受診

15:27- 胎児心拍数陣痛図で基線細変動消失、一過性頻脈消失を認める

16:34 胎児機能不全の診断で母体搬送され、当該分娩機関に入院

4) 分娩経過

妊娠 41 週 2 日

18:53 胎児機能不全のため帝王切開にて児娩出

胎児付属物所見 臍帯巻絡(頸部 3 回)あり

5) 新生児期の経過

(1) 在胎週数:41 週 2 日

(2) 出生時体重:3233g

(3) 臍帯動脈血ガス分析:実施なし

(4) アプガースコア:生後 1 分 1 点、生後 5 分 6 点

(5) 新生児蘇生:人工呼吸(バック・マスク、チューブ・バック)、気管挿管

(6) 診断等:

出生当日 胎便吸引症候群、重症新生児仮死、低酸素性虚血性脳症、播種性

血管内凝固症候群、遷延性肺高血圧症候群

(7) 頭部画像所見:

生後 11 日 頭部 MRI で低酸素・虚血を呈した所見あり

6) 診療体制等に関する情報

〈搬送元分娩機関〉

(1) 施設区分:診療所

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 1 名

看護スタッフ:助産師 1 名

〈当該分娩機関〉

(1) 施設区分:病院

(2) 関わった医療スタッフの数

医師:産科医 3 名、小児科医 2 名

看護スタッフ:助産師 7 名

2. 脳性麻痺発症の原因

(1) 脳性麻痺発症の原因は、妊娠 41 週 0 日以降、入院となる妊娠 41 週 2 日までの間に生じた一時的な胎児の脳の低酸素や虚血による中枢神経障害である
と考える。

(2) 一時的な胎児の脳の低酸素や虚血の原因を解明することは困難であるが、
臍帯血流障害の可能性があると考える。

3. 臨床経過に関する医学的評価

1) 妊娠経過

妊娠中の管理は一般的である。

2) 分娩経過

(1) 搬送元分娩機関において、妊娠 41 週 2 日の受診時における胎児心拍数陣痛
図の判読(「ノンリアクティブ?」)および対応(胎児機能不全と診断し当該分娩機関
へ母体搬送したことは、いずれも一般的である。

(2) 当該分娩機関において、胎児胎盤機能低下の診断で入院としたこと、およ

び入院後の対応(内診、分娩監視装置装着、帝王切開の準備、バイタルサイン測定、超音波断層法、血液検査)は、いずれも一般的である。

(3) 胎児機能不全のため緊急帝王切開を決定したこと、および入院から 2 時間 20 分程度で児を娩出したことは、いずれも一般的である。

(4) 胎盤病理組織学検査を実施したことは適確である。

3) 新生児経過

新生児蘇生(バッグ・マスクによる人工呼吸、気管挿管、チューブ・バッグによる人工呼吸)は一般的である。

4. 今後の産科医療向上のために検討すべき事項

1) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における診療行為について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

2) 搬送元分娩機関および当該分娩機関における設備や診療体制について検討すべき事項

(1) 搬送元分娩機関

なし。

(2) 当該分娩機関

なし。

3) わが国における産科医療について検討すべき事項

(1) 学会・職能団体に対して

陣痛開始前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推測される事例を集積し、原因や発症機序についての研究を推進することが望まれる。

(2) 国・地方自治体に対して

陣痛開始前に発症した異常が中枢神経障害を引き起こしたと推測される事例の発症機序解明に関する研究の推進および研究体制の確立に向けて、学会・職能団体への支援が望まれる。